

平成24年度 第4回函館市行財政改革推進統括会議

日 時 平成24年10月17日（水）10：30～12：00
会 場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，吉川病院局長
谷口企画部長，上戸総務部長，大竹財務部長，種田生涯学習部長

議 題 ◎函館市行財政改革プラン2012（原案）について
<対応：小林行政改革課長，川村財政課長>

◆議題の趣旨◆

函館市行財政改革プラン2012（原案）について，協議を行いました。

◆協議の結果◆

原案の内容については，概ね了承されました。

◆主な発言◆

（中林副市長）

退職手当の見直しについての考え方は，人事院の民間調査に基づくものではないか。

（行政改革課長）

再度，内容を精査して修正したい。

（工藤市長）

平成28年度の受益者負担の見直しが大きいがこれは何か。

（財政課長）

ごみ処理手数料等の使用料・手数料の改定を想定している。内部努力を先行して進める中で，財政状況を見ながら，臨機応変に対応したいと考えている。取り組みとして掲載してよいか。

（工藤市長）

そのような考え方であればよい。

（工藤市長）

平成28年度の基金残高見込みの15億円はどのような考え方か。

（財政課長）

このプランを進めることにより，平成26年度以降，予算ベースで黒字化し，その

黒字分を、基金に積み立てる見込みである。

(工藤市長)

見込みの15億円は、交付税の動向によっては一気に解消されてしまう金額であり、十分ではない。不測の事態に備えるという意味では、少なくとも50億円程度は必要と考える。

(財政課長)

予算執行の節減により、積立額の増加について努力したい。

(行政改革課長)

今後、本日の指摘事項の修正および誤字・脱字等の確認を行ったうえで、22日以降に、決裁により原案を確定したいと考えているがよいか。

(工藤市長)

その方法でよい。
